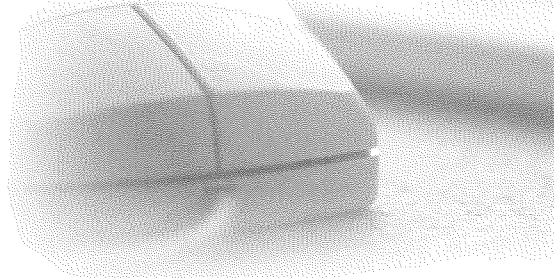


# 決算報告

## 保険料の増加で2年連続黒字



平成27年度事業および収支決算報告が、  
7月19日(火)開催の  
第113回組合会において承認されました。  
以下に収支決算の概要をご報告します。

### 平成27年度事業 データヘルス計画がスタート

平成27年度は、健保組合ごとに医療費や健診のデータを分析して、重症化予防や健康づくりを目的とした効果的・効率的な事業を行うデータヘルス計画がスタートしました。これをベースとした疾病予防事業では、オプション検査の充実を図るとともに、「保健事業ガイド2015」を配付して各種健診を中心とした事業の周知を行いました。また、ジェネリック医薬品促進通知、メンタルヘルスカウンセリング、各種体育奨励事業などによる医療費適正化への取組みも引き続き行っています。

### 平成27年度収入支出決算

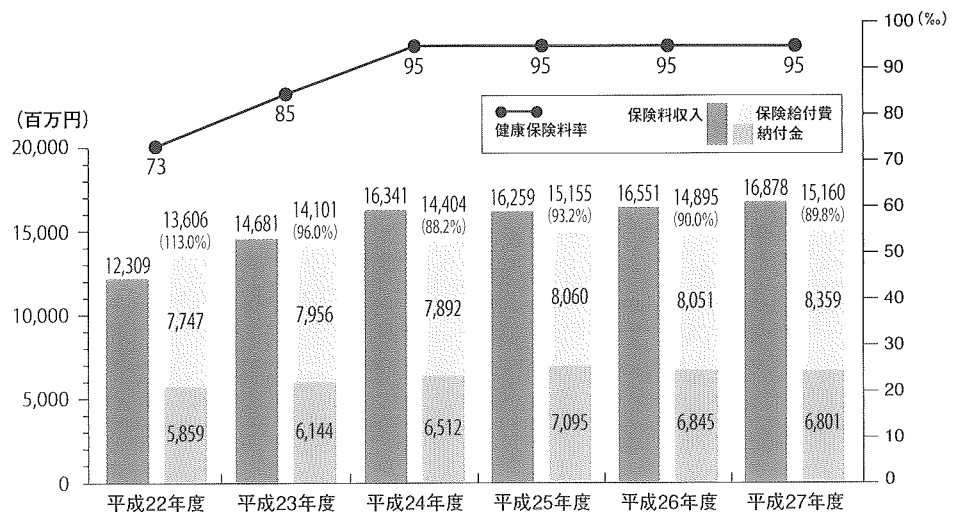
#### 健康保険(一般勘定)

○収入総額	173億5200万円
○支出総額	168億4600万円
○収支差引額(決算残金)	5億700万円

#### 収入 保険料収入が2年連続増収

平成27年度は、健康保険料率が95%に据置きとしました。決算では被保険者数が3万1867名で前年度決算比420名増、平均標準報酬月額が37万6150円で同比1004円増となったことで、保険料収入は同比3億2700万円増の16億7800万円となりました。また、予算比でも6億9900万円増となったことから、別途積立金からの繰入れは行いませんでした。

図 保険料収入・保険給付費・納付金の推移



\*保険給付費・納付金の合計額の( )内は保険料収入に対する割合。

#### 支出 保険給付費が3億円超の増加

高齢者の医療費を負担している納付金は、前期高齢者納付金が前年度決算比2億9400万円増加したものの、後期高齢者支援金、退職者給付拠出金の減少により、あわせて同比4300万円の減少となりました。一方、保険給付費は、被保険者数の増加もあり同比3億800万円もの大幅増